

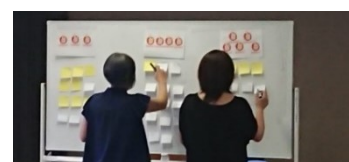
No.1	団体名	<b>耀く大野町まちづくり委員会</b>		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> アンケートによる住民の意向調査事業			
事業概要	大野町住民(約360世帯)に対して、よりよいまちづくりのための意識・意向調査を実施する。そのアンケート結果を踏まえ、次年度に取り組むべき事業を企画立案する。 また、住民が調査報告書を読覧することにより、地域課題解決の意識が高まり、よいまちづくりのきっかけ作りを行う。			
事業費総額(予算)	293,530円	助成金交付決定額	100,000円	
事業費総額(確定)	230,041円	助成金額(確定)	100,000円	
主な経費内容	印刷用紙、プリンターインク、アンケート印刷、返送用封筒、報告書印刷、アンケートデータ入力、複合機(PDF作成用)、ホワイトボード			

### ●実施内容

- ワークショップを開催して、アンケート内容を討議
- アンケートについて事前説明会を開催
- 大野町の全住民向け意識・意向調査のアンケートを実施
- 回収率を上げるため、大野町内各種団体による手配布・手回収を実施
- アンケートから住民の抱える課題や意向を分析し報告書を作成

#### <当初計画からの変更点>

- ・広告掲載は不相当との意見が多く、アンケートへの広告掲載は取り止めた。
- ・各種団体による手配布・回収を実施した(アンケート返送用郵便代金を取り止め)。
- ・アンケート回答の画像データPDF化のため、プロジェクターの購入を見送りPDF作成用の複合機に変更。プロジェクターは説明会時に個人からの無償借用で対応した。
- ・コロナの感染拡大防止のため、飲食物の提供を取り止めた。
- ・本来目的をより促進するため、可能な限りワークショップ形式で実施した。



- 4月15日 キックオフミーティング 参加者2名+アドバイザー
- 4月24日 自治会委員会に諮問
- 5月9日 自治会委員会及び各種団体向け説明会
- 6月5日 第1回ワークショップ 参加者13名+アドバイザー
- 7月4日 第2回ワークショップ 参加者18名+アドバイザー含関係者4名
- 7月24日 アンケート事務局案提示 参加者21名+アドバイザー含関係者4名
- 8月1日 第3回ワークショップ 参加者14名+アドバイザー
- 8月21日 第4回ワークショップ 参加者11名
- 9月4日 アンケート入稿前確認
- 9月11日 アンケート配布・回収方法説明 自治会班長30名、会員10名
- 10月2日 アンケート回収・整理
- 11月7日 アンケート結果ドラフト版の説明
- 1月15日 アンケートの最終入稿確認
- 2月5日 アンケートを大野町全戸に配布 参加者25名
- 2月20日 アンケートを受けて来年度以降の事業計画打合わせ 参加者20名

### ●事業成果

- ・大野町の住民の意向調査は初めての取り組みで、今まで取り上げられていない地域課題が浮き彫りになった。  
(例:10年後の空き家問題、公園整備や公民館有効利用)
- ・アンケート記入時にも家族で対話が生まれ、まちづくりを話し合うきっかけになった。
- ・来期以降の事業にアンケート結果を反映し、住民主導の行事・事業を提案していくことが可能になった。

### ●団体の活動目的・目標

住民の安全・安心・地域社会の課題の解決に取り組む活動(事業)を持続的に支援し、以下の事業に取り組めます。

1. 自主防災に関する事業のサポート 2. 大野町認可地縁団体登録と土地の利活用に関する事業のサポート 3. 行事業案内(情報誌)発行やホームページの運用 4. 大野町の地域振興・地域課題の解決に関する事業のサポート 5. その他、よいまちづくりに必要な事業のサポート